

講義名	経済学入門（商学部）			授業形態	
担当教員	上瀧 真生	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生
				ナンバリング・コード	

主題と概要
私たちの衣食住の生活を支えているのは、物やサービスを生産し、流通させ、消費し、廃棄する活動、つまり経済活動である。経済活動は、働き、賃金を得て、消費する家計の活動、物やサービスを生産したり、流通させる企業の活動、家計や企業から税金を徴収し、公共サービスを提供する政府の活動の複雑なからまり合いのなかで進行している。さらに、今日、経済活動は国境を越えて、グローバルに展開している。このような複雑な経済活動について、その方向性やあり方を考えることは、私たちが生きていくうえで必要不可欠なことである。この講義では、経済活動についての基本的な見方・考え方、経済学の基礎の基礎を学ぶ。

到達目標
①経済活動についての基本的な見方・考え方を身につけることができるようになる。 ②その見方・考え方を踏まえて、現実の経済活動で起きていることから自分なりの考えをもつことができるようになる。

提出課題
毎回クイズを課す。 中間レポート試験を課す。 期末レポート試験を課す。 ＊これらについては、Campus-Xs をつうじて提出を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
クイズについては、Campus-Xs をつうじて採点結果を伝え、次回講義時にコメントする。必要な場合、解説や補足説明を行なう。 中間レポート試験については、Campus-Xs をつうじて採点結果を伝え、講義時にコメントする。 期末レポート試験については、要望があれば個別にコメントを付して採点結果を伝える。

評価の基準
毎回の講義時間内に行う復習クイズ、中間レポート試験、期末レポート試験の総合評価（単純合計）による。 復習クイズ 30点満点（2点×15回） 中間レポート試験 30点満点 期末レポート試験 50点満点

履修にあたっての注意・助言他
経済的なことがらになじみがないと感じている受講生も多いかもしれないが、実際には私たちの生活は経済的なことがらを基礎として成り立っている。そのことを実感できるよう、日頃から新聞、ニュースなどで経済活動にかかわることがらに注意を向けてほしい。 以下のとおり、受講ルールを定める。 （１）授業開始後15分を経過したものは入退室を認めない。 （２）座席については教員の指示に従う。 （３）私物撮影、目にあまる場合は退室してもらう。 （４）携帯電話などの電源は切る（レジュメへの書き込みなどでPCやスマートフォンを使う場合は例外とするが、写真撮影は禁止する）。

教科書				
.使用しない。.				

参考図書					
・アメリカの高校生が学ぶ経済学。	ゲーリー E.クレイトン	WAVE出版	2640	9784872906905	
・1からの経済学。	中谷武・中村保編	碩学舎	2640	9784502680809	

その他
Campus-Xs をつうじて、基本的に講義日の3日前にレジュメ、資料を配借する。 受講生は、これらをダウンロードし、印刷するなど、講義に向けて準備すること。

授業計画
01.経済ってなんだ？ 02.世の中は分業で成り立っている ― 機会費用と比較優位 03.買い手の行動、売り手の行動 ― 買い手の行動と需要曲線 04.買い手の行動、売り手の行動 ― 売り手の行動と供給曲線 05.商品価格と需給のバランス ― 市場価格は市場均衡価格を中心に変動する 06.商品価格と需給のバランス ― 需要曲線・供給曲線の移動と市場均衡価格の変動 07.市場にまかせればうまくいく ― 消費者余剰と生産者余剰（市場参加者の満足度） 08.市場にまかせればうまくいく ― 市場均衡価格で市場参加者の満足度は最大になる 09.市場にまかせてもうまくいくかない ― 不完全競争・外部効果・公共財 10.市場にまかせてもうまくいくかない ― 情報の漏り・失業・所得格差 11.一國の経済を考える ― GDPって何？ 12.一國の経済を考える ― GDPに影響を及ぼす要因 13.お金は経済活動の潤滑油 ― 貨幣の役割／間接金融と直接金融 14.お金は経済活動の潤滑油 ― 中央銀行の役割／政府の役割 15.国や自治体ができること ― 政府予算／世界とつながる ― 外国貿易と為替レート

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
クイズ解答作成を含め、毎回の講義の復習 30時間 中間レポート試験の準備 15時間 期末レポート試験の準備 15時間

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
経済学入門は、全学共通科目／全学基礎科目／専門基礎 に位置づけられている。 到達目標1)～5)を達成することによって、本学学生が「共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」、「創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材」となることに寄与する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
クイズの結果を踏まえて、次回講義で必要な解説や補足説明を行なう。 可能な限り、受講生が意見を述べる機会をつくる。

実務経験の有無及び活用
なし。

備考
Campus-Xs や RYUKA Portal のメールなどをこまめにチェックすること。